



医療安全管理室 ● 病院紹介 ●



人は誰しも間違えることがあります。医療現場では常日頃から安全への体制を強化し、スタッフ一同の安全意識は高いのですが、それでも人が起こすミスからは逃れられません。

スタッフがミスを起こした際にはレポートの提出をお願いしています。個人を責めるためのものではなく、システムをより安全性の高いものに改善したり、情報を共有し意識を高める材料として役立て、未来の事故を減らし患者さまを守るためです。特に患者さまに影響が及ばなかった小さなミスをたくさん報告してもらい、その対策をたてることで大きなミスの芽を摘めるよう取り組んでいます。

患者さまにも安全な医療の提供に向け、お名前や生年月日の確認、リストバンドの装着などのご協力をいただいております。今後とも医療安全へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(医療安全係長 武岡 良展)

通所支援事業の ひとコマ



梅雨が明け「夏休みデイ」がはじまり、通所支援

ではときどき子どもたちのにぎやかな声がする日があります。「夏休みデイ」は、普段は地域の小学校や特別支援学校に通っている学齢期のお子さんに、日帰り短期入所の制度をつかって夏休みに通所支援で過ごしてもらうサービスで、だいたいのお子さんが「児童発達支援」の卒業生です。久しぶりにあうお子さんたちは、ちょっと見ない間も現状維持で過ごせていたり、いろいろできるようになっていたりと、ほっとしたりびっくりしたりの連続です。



中庭での園芸活動では、すっかり暑さにやられているもののミニトマトやオクラの収穫を行っています。「トマトらしい味」と味見してくださった方からは好評?をいただきました。ミニメロンは早々に落果して「だいじょうぶか?」と焦りましたが、皮をむいてみると瓜っぽい香りがして、ほんのり甘味もありました(よかった)。利用者さんに香りがかいでもらうと、鼻孔が動いたり口をもぐもぐさせたりして、こちらも好評? のようでした。

いつまでこの暑さが続くかわかりませんが、早く過ぎやすい気候になってほしいなど祈りながらも、利用者さんと夏らしい体験を楽しんでいる通所スタッフでした。

(療育指導室長 村松 順子)

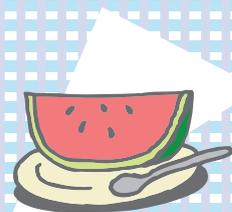
今月の

みえツウちゃん

ロゴがカラフルなぬり絵を提出いただきました。「みえツウちゃん」も嬉しそうですね。



みなさまも、
どしどし応募して
くださいね。



《ゆりさん》